

課題解決へ 相互に連携

JA山梨組合長会

【山梨】JA山梨組合長会

合長会は3日、甲府市の県JA会館でJA山梨組合長会研修会を開き、県内のJAと連合会の常勤役員ら50人が参加した。

同研修会は、JA組合長らの相互連携の強化を図り、JAの組織・事業運営に関する課題の解決に向けた必要な情報共有を図ることが目的。

組合長会の高橋明夫
会長（JAクレイン組



講師を務める木崎代表（甲府市で）

合長）は「組合員の高齢化による減少が懸念される中、相続を機に脱退する事例もあり大きな課題となっている。JAとして、組合員の相談に乗ることで信頼を築けるような存在になれるようになりたい」とあいさつした。研修では「こころ亭久茶」として活動する行政書士きざき法務才フイスの木崎海洋代表が、「落語で学ぶ相続と終活」をテーマに落語形式で心の通う相続を語った。